# Citation C'

### PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

55-042804

(43) Date of publication of application: 26.03.1980

(51)Int.CI.

B29J 5/04 B29D 27/00

(21)Application number : 53-115132

(71)Applicant: KASAI KOGYO CO LTD

(22)Date of filing:

21.09.1978

(72)Inventor: UCHIUMI HIROSHI

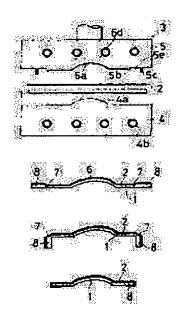
ISHII SEIZO

#### (54) MANUFACTURING MOLDED FIBROUS PRODUCT ADHERED WITH OUTER

#### (57)Abstract:

PURPOSE: To obtain the moled fibrous product useful for rear corner and the like of an automobile interior material by laminating and pressing outer skin on fibrous plate containing resin, removing unnecessary portions after providing cutting grooves on the plate, folding the excess skin on the back and adhering the excess skin on the surface.

CONSTITUTION: Fibrous plate 1 containing thermoplastic synthetic resin is press- molded into a desired shape thru the below procedure: (a) the plate 1 is softened by heating and the outer skin material 2 is laminated on its surface, (b) it is set between the lower die 4 having bottom working surface 4a and cooling pipe 4b, and the upper die 5 having upper working surface 5a, protruded rib 5b, cutter blade 5c and cooling pipe 5d, and (c) the semi-finished molded fibrous product having cutting grooves 7 being made by protruded rib 5b and excess portion 8 is obtained. Then, the plate 1 is bent and cut along the cutting groove 7, unnecessary portion



being removed, excess part 8 having the skin 2 is turned back for adhesion and the desired product is obtained.

#### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] [Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

## Citation

#### (19) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

## ⑩公開特許公報(A)

昭55—42804

**5)**Int. Cl.<sup>3</sup> B 29 J 5/04 B 29 D 27/00 識別記号

庁内整理番号 7628-2B 2114-4F 匈公開 昭和55年(1980) 3月26日

発明の数 1 審査請求 有

(全 2 頁)

図表皮材を貼着した繊維材成形品の製造方法

願

願 昭53-115132

②特②出

願 昭53(1978)9月21日

@ 発 明 者

者 内海寛士

鎌倉市手広504

⑫発 明 者 石井晴三

神奈川県高座郡寒川町宮山3454

<del>--</del> 3

⑪出 願 人 河西工業株式会社

東京都中央区日本橋2-3-18

個代 理 人 弁理士 北村欣一

外2名

明 細 書

1. 発明の名称

表皮材を貼着した繊維材成形品の製造方法

2. 特許請求の範囲

熱可塑性合成樹脂を含有する繊維板を熱軟化させてその表面に表皮材を重ねた状態で冷却金型により加圧成形し、且つ繊維板に製品の外形形状の切所用機部を凹設する第1工程と、前配切断用機部外局の繊維板を除去して余剰表皮材を機維板裏面に折り返し接着する第2工程とからなる表皮材を貼滑した複雑材成形品の製造方法

3. 発明の詳細な説明

本発明は、例えば自動車内装部品のリヤーバー セル又はリヤーコーナーのように装皮材を貼着し た繊維材成形品の製造方法に関する。

この種線維材成形品は、その基材をブレス加工した後に、外周をトリミングカットしなければならず、又その表面に貼着される表皮材は成形品の外周線に沿つて裏面に折返されるため、表皮材の貼着は基材をトリミングカットした後でないと行

**りことができなかつた**o

そのため表皮材の貼着に手数がからる等の不都合が存した。

(1)

(2)

特別 昭55--- 42804 (2)

リプ (5b)とカット刃 (5c)間の加圧面 (5e)は製品加 工面 (5a)より探く形成して凸リブ (5b)より外側の 線維板(1)と表皮材(2)とは上型(4)と下型(5)とに加圧 されないようクリアランスを大きく設定する。こ の冷却金型(3)による第1工程で繊維板(1)と表皮材 (2)とは、第2図に示すように、金型の加工面によ つて両者が加圧貼着される製品部(6)と、凸リブ (5b)によつて繊維板(1)に凹設される製品外形形状 に沿つた切断用導部(7)と、カット刃 (5b)によつて 切断用解邸(7)の外周に沿つた機維板(1)と表皮材(2) とが貼着されない余利部(8)と有する半製品が得ら れる。 次いでこの半製品を金型(3) より取り出し、 第3図に示すように切断用褥部(7)に沿つて線維板 (1)と殺皮材(2)とを折曲し、その折曲された繊維板 (1)を取り除いた要皮材(2)の余剰部(8)のみを第4図 に示すように製品部(6)の裏面に沿つて折り返し接 着することにより製品を得るものである。

このように本発明によるときは熱可盟性合成倒脂を含有する線維板を熱軟化させて、 その表面に表皮材を重ねた状態で冷却金型により加圧放形する

(3)

ものであるから微維板に含有する熱可塑性合成樹脂が接着剤の役目をなして繊維板に表皮材はな繁化に接着されてその接着作業を大幅に短縮すると共にその接着ができた。その接着板には製品の外形形状に付け、機能板には製品の外形形状に付け、たけ断用神部を凹設させて余剰部を形成し、この知り部を第2工程においてその機能板のみを除力した。その表皮材を破離板裏面に折返し接着したかの分乗を有する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の第1工程を示す疑断面図、第 2図は第1工程により得られた半製品の凝断面図、 第3図及び第4図は本発明の第2工程を示す疑断 面図である。

(1) … 線維板、

(2) … 表皮材

(7) … 切断用满部、

(8) … 余剩部

特許出額人 河西

柯西工杂株式会社

人野力

北村 欣 ---

外2名

(4)

